

令和7年12月24日

徳島河川国道事務所

E55

とくしまなんぶ

こまつしまみなみ

あなん

徳島南部自動車道 小松島南 IC～阿南 IC 間が 令和8年3月8日（日）に開通します

1. 開通日時 令和8年3月8日（日）
2. 開通区間 こまつしまみなみ 小松島南 IC ～ あなん 阿南 IC
とくしま こまつしま たつえちょう とくしま あなん しもおおのちょう
(徳島県小松島市立江町 ～ 徳島県阿南市下大野町)
3. 延長 3.2 km

開通により期待される効果

効果①：新たなルート形成による周辺道路の混雑緩和



効果②：交通転換による交通事故のリスク低減



効果③：搬送時間短縮等による救急医療活動支援



効果④：地域産業を支援



- 開通に先立ち、「開通式典」を予定しております。
- 開通式典、開通時刻等の詳細な内容については後日お知らせいたします。
- 開通を記念し、特設サイトを徳島河川国道ホームページに掲載する予定です。



本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

徳島河川国道事務所ホームページ

(<https://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/index.html>)

X (旧 twitter) 情報

(https://x.com/mlit_tokushima)



ホームページ



X (旧 twitter)

【発表先】徳島県政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 TEL：088-654-2211（代表）

副所長（道路） 水野 匡洋（みずの まさひろ）

○工務第二課長 吉香 英世（よしか えいせい）

○・・・主な問い合わせ先

徳島南部自動車道の概要

- 徳島南部自動車道は四国8の字ネットワークの一部を形成し、近畿圏と徳島県南部地域の連携強化や徳島市・小松島市・阿南市の渋滞緩和を図るほか、災害時における代替路としての役割を担う道路です。
- 今回、小松島南IC～阿南IC間（延長3.2km）が令和8年3月8日に部分開通することで、新たなルート形成による渋滞緩和に加え、交通転換による交通事故減少、搬送時間短縮等による救急医療活動支援などが図られます。

〈位置図〉



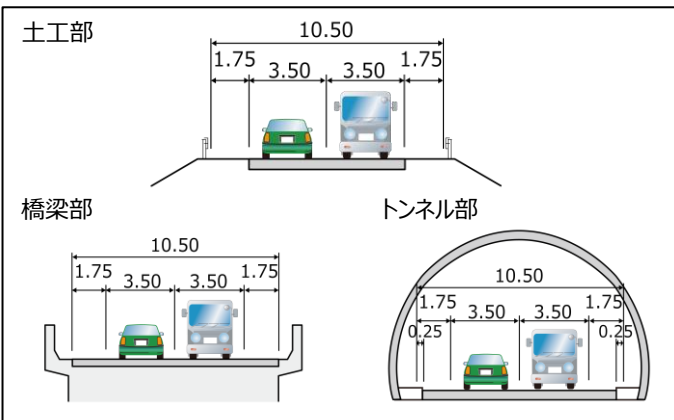
四国8の字ネットワークとは？
四国4県を結ぶ将来の高速交通ネットワークの愛称です。「8の字」の样に見えることから名付けられました。

〈事業概要〉

事業名	しこくおうだん 四国横断自動車道（阿南～徳島東）
区間	とくしま あなん しもおのちようわた あが 自）徳島県阿南市下大野町渡り上り とくしま とくしま きたおきのす 至）徳島県徳島市北沖洲
延長	17.3km（今回開通区間：3.2km）
構造規格	第1種第2級：自動車専用道路 設計速度：100km/h【80km/h】 車線数：4車線（暫定2車線） 標準幅員：23.5m【10.5m】

※【 】内は、暫定2車線開通時の計画

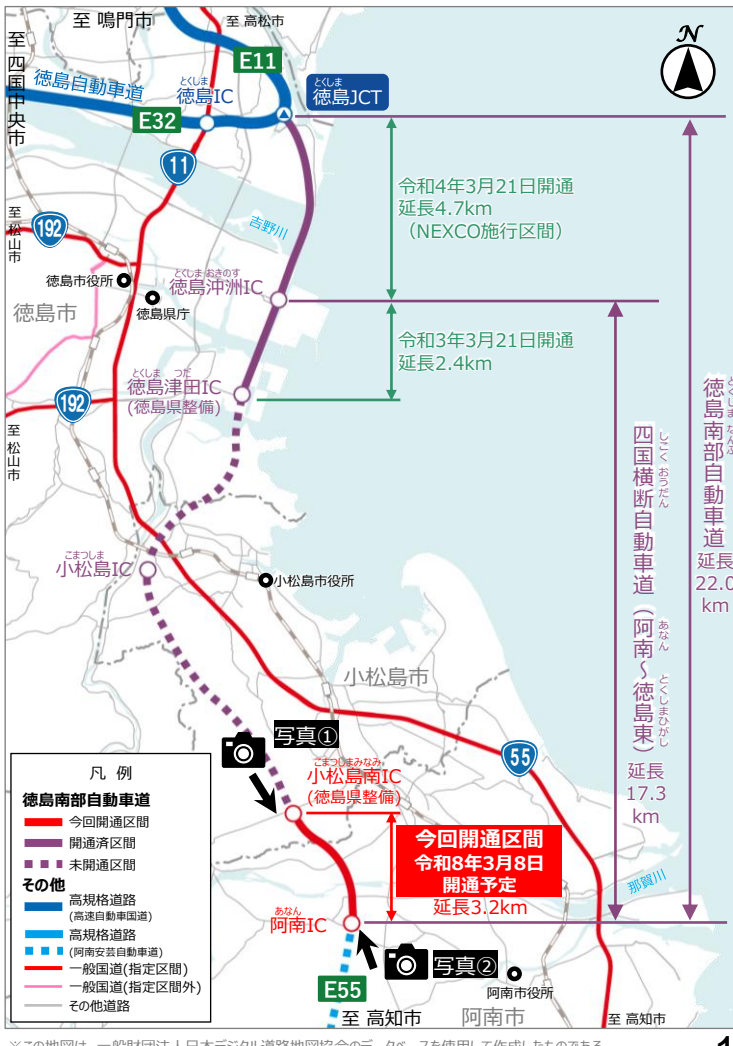
〈標準断面図〉



〈開通区間の状況〉



〈平面図〉



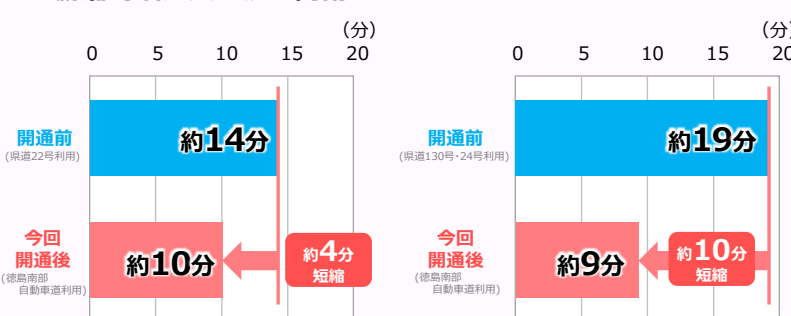
※この地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。

〈周辺道路の交通渋滞箇所〉



〈所要時間の変化〉

▼勝浦町沼江交差点～阿南IC



資料) ETC2.0プローブデータ(R6.9-10【平日】)混雑時平均旅行速度
今回開通後:小松島南IC~阿南IC【規制速度70km/h】

【地域（世界的LEDメーカー）の声】

- ・従業員の**出退勤には主に車が使用**されており、時差出勤を使っても**各工場に3,000台ほどの通勤車両が向かって**います。
- ・今回開通する区間は、**多くの従業員が通勤で利用**すると考えており、**これまでの通勤ルート（県道22号、県道130号など）の混雑緩和**につながると思われます。



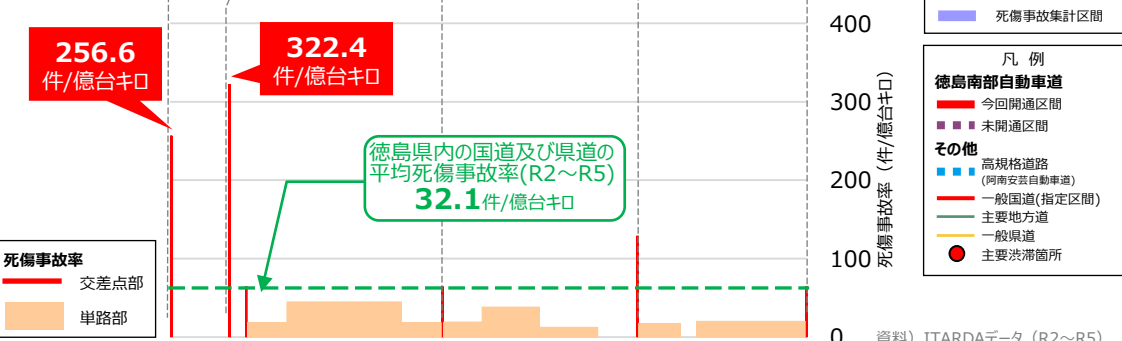
【整備効果②】 交通転換による交通事故のリスク低減

- 今回開通区間周辺の県道(大林北交差点～上中町交差点、萱原交差点～上中町交差点)では、**徳島県内平均を上回る死傷事故率が確認**されており、**追突や出会い頭による事故が多発**しています。
- 今回の開通による交通転換により、**周辺の県道における交通事故のリスク低減**が期待されます。

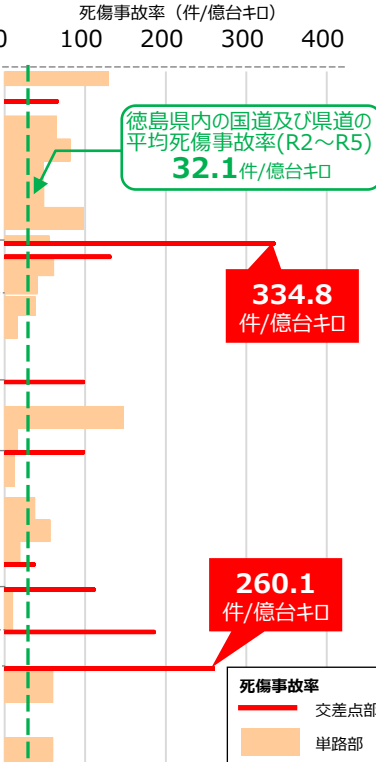
〈平面図〉



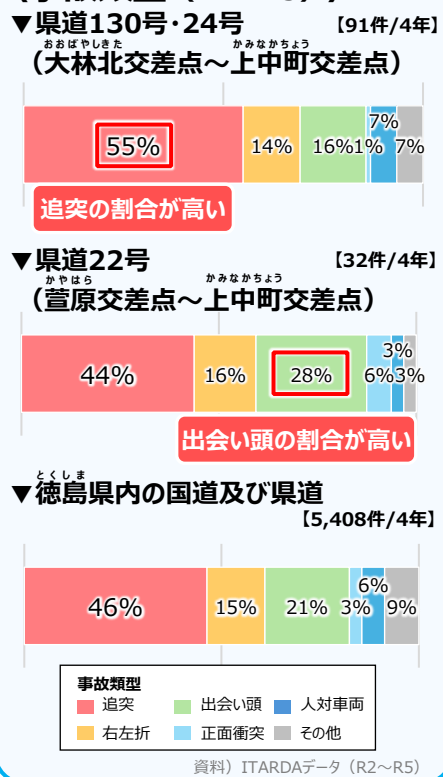
〈死傷事故率 (R2～R5)〉



〈死傷事故率 (R2～R5)〉



〈事故類型 (R2～R5)〉



【警察関係者の声】

- ・今回開通区間に周辺の県道(130号、24号)では、**通勤時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生**しており、信号交差点や店舗等が点在していることによる急な減速や右左折車との速度差などにより、**追突事故が多発**しています。
- ・また、県道22号では周辺に企業や工場が立地し、通勤時間帯の交通量がかなり多く、**追突事故が多発する一方、脇道からの流入による出会い頭事故も多く発生**しています。
- ・今回の開通により、これまで**県道(130号、24号)に集中していた交通量が分散**されることで、**慢性的な渋滞が緩和され、事故の減少が期待**されます。

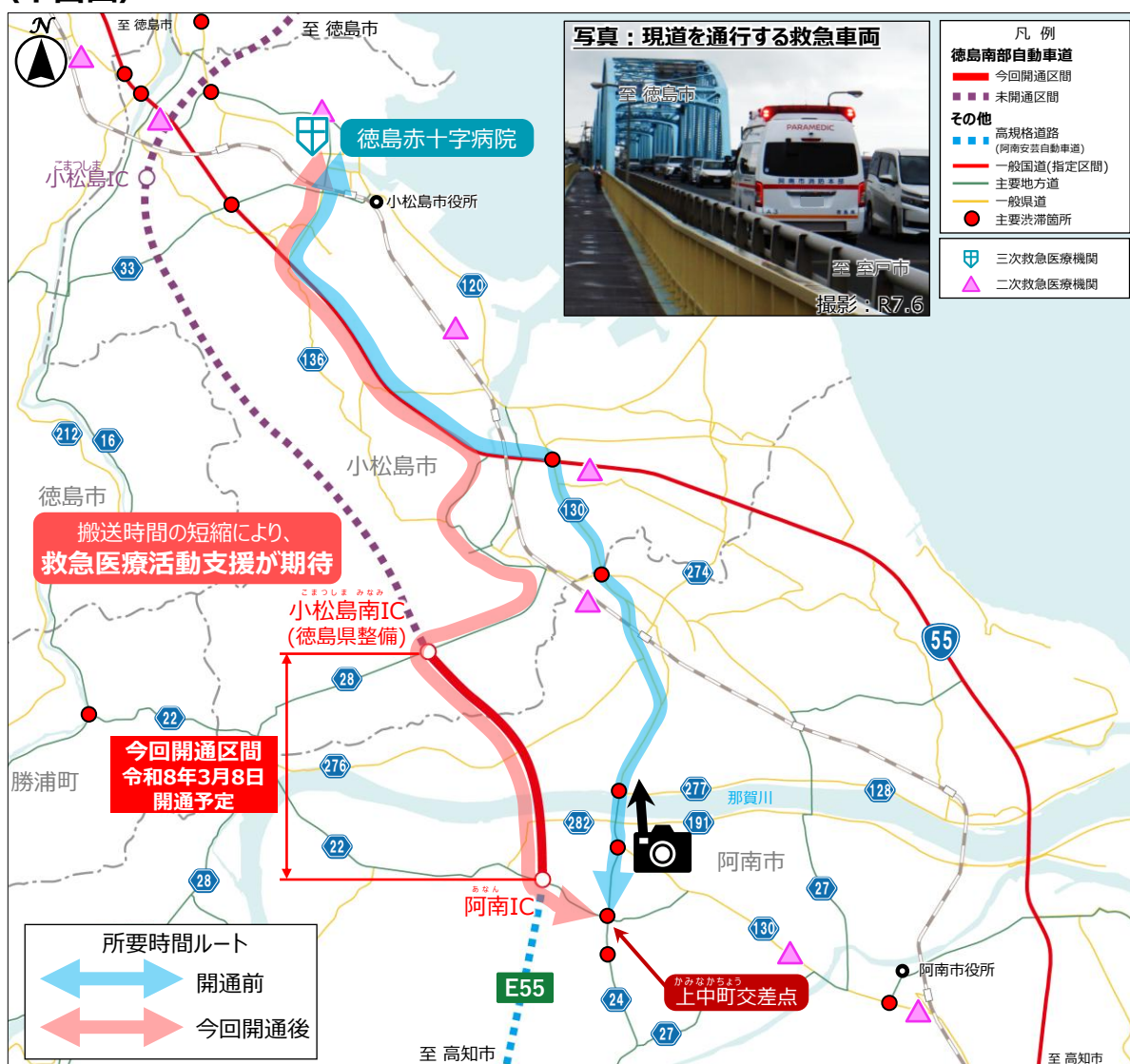


【整備効果③】搬送時間短縮等による救急医療活動支援

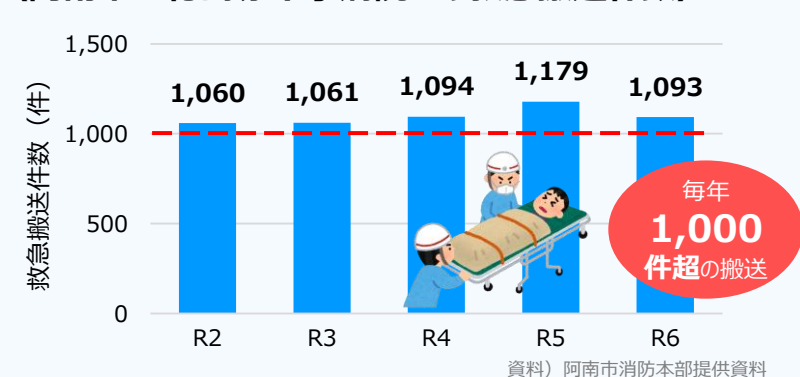
あなん

- 阿南市から最寄りの三次救急医療機関である徳島赤十字病院へは、毎年1,000件を超える救急搬送が行われています。
- 今回の開通により、**搬送時間の短縮や交通状況を踏まえた搬送ルート**の選択が可能となるなど救急医療活動支援が期待されます。

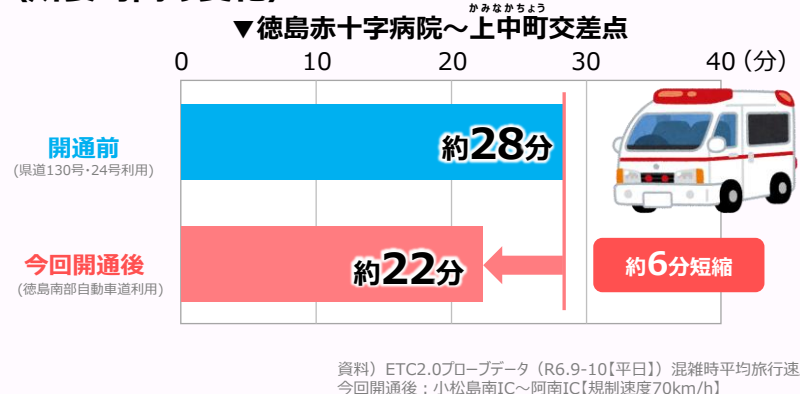
〈平面図〉



〈阿南市～徳島赤十字病院への救急搬送件数〉



〈所要時間の変化〉



【救急医療関係者の声】

- ・これまでは阿南市西部・南部からの救急搬送には県道130号だけしか使用できませんでしたが、徳島南部自動車道(小松島南IC～阿南IC)が開通すれば、交通状況によって、**救急搬送時のルート選択が可能**となります。
- ・また、県道130号の渋滞が緩和されることで**搬送時間の短縮効果も期待**されます。



- ### 〈平面图〉

